

12月定例市議会

一般会計補正予算 一億六千万円

十二月定例市議会（第二百一回議定例会）が十二月十一日に開会、二十二日までの十二日間の日程で開かれ、昭和六十二年度南国市一般会計補正予算や南国市助役選任の同意について、南国市収入役選任の同意についてなど十八議案を可決、認定、昭和六十一年度南国市一般会計歳入歳出決算など四議案を継続審査、潮見台ニュータウンの事件に関して議員から提案された百条調査委員会を設置する決議と事件に係った二議員に対する辞職勧告決議の二つを否決しました。

市政報告

市政の重要事項について市長は次のように報告しました。



十一月一日の選挙の結果今後四年間市政を担当することになったが、投票率が低かったことや批判票が多かったことを謙虚に受け止めて、今後の市政を進める上での反省材料とした。

空港整備、財政再建、同和対策の推進、教育施設の充実、企業誘致の達成を行政上の課題とすることを公にしてきたが、空港整備については一応目的を達成、騒音対策などもほとんど完了し、今後は周辺環境整備を図ることになっている。

残る四目標は早期達成が困難であり、今後一層地道な努力が必要である。

財政状況

開発公社への支払いは、八千五百六十四万三千円を計上、今後の財源がごく限られている一方、退職手当が三億円を上回る見込みでその取り扱いに苦慮している。

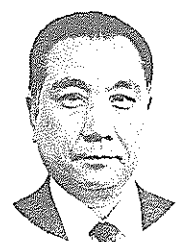
潮見台ニュータウン

十二月三日潮見台ニュータウン開発に伴う農地転用等に関して発生した事件の真相は、正直による説明を待たなければならぬが、十二月四日の緊急農業委員役員会における確認と事務局の説明では、

助役、収入役が決まる

任期満了に伴う助役、収入役の選出が行われ、十二月十二日付けで吉本太志男助役、十二月十五日付けで田岡信雄収入役が

岩崎巖収入役



南国市議会議員、教育委員を経て昭和五十八年に助役に就任。

長岡村、後免町、南国市職員として税務課長、総務課長などを歴任。

本件の処理に当たっては通常の審議と異なり特別委員会を設け慎重な審議をした上、農地部会の議決によって執行されており、特に便宜を図ったものとは考えられないとの結論である。

人事

吉本助役、田岡収入役は、三期

一般質問

十二月定例市議会の一般質問は、十五、十六、十七日の三日間にわたって行われ、土居、高島、山本弘志、田島、福田、紀伊、中村、竹内、山崎中屋、吉村、山岡各議員が同和問題や教育問題などについて執行部の考えをたずねた。その主な内容は次のとおりです。

○人件費抑制など行政改革についての考えは。

●給与単価はすでに改善されており、今後はどのように職員数を抑制するかが問題である。住民サービスの低下につながるようには用務員などの臨時化、児童館の民営化によって抑制を図りたい。行政事務の合理化によって臨時職員も削減される予定である。支所は長年の経緯もあり、反対が強いと考えられるが、交通機関の発達により非常に便利になった。人数や施設経費の問題もあり、今後も話し合いを続けていく。学校給食については、栄養管理や責任分担、移行の方法、職員などの問題を考慮し、教育の一環であることを基本に考えて、質を低下させないこと、安全性の確保を銘記して可能な合理化策をとっていく。

○小集落地区改良事業三年完成のための取り組みは。

●事業が残らないように三年完成を目指す。それには、土地の買収や補償契約の解決が重要と考える。

買収単価については解決の方向に向かっていく。

○空港拡張に関する市長の考えは。県から話があったのではないかと。また、それに対してどう対処するのか。

●空港拡張については聞いていない。なんらかの話があつてから市民の不利にならないように対処したい。前回の空港拡張時に市を揺るがすほどの貴重な経験をしており、国や県に振り回されることはあつてはならないと考えている。

○農業振興の施策が取れないか。また、減反についての市の対策は。減反はそろそろ限界にきていると思うので、市の事情を訴え反対行動を取りたい。六十三年度の減反は、多用途米や米の消費拡大によるものになると思われる。単作への移行や土地の基盤整備、コストの低減、農作物の研究開発などにも取り組む必要がある。また、自主的な取り組みも必要と思う。

○文化会館建設についてどう考えているのか。

●学校教育施設優先のために延び延びになっていたが、文化会館については、まず場所や内容の設定から取りかからなければならぬ。青写真作成の予算計上にも努力し、市政三十周年にはいつても建設に着手できる段階にこぎつけた。

○市政三十周年記念事業として市民参加のイベントを。

●三十周年記念行事としては現在映画の製作を進めている。財政のことも考慮して、来年から祝賀行事、文化会館、イベントについても計画したい。

○選挙の投票率が低く、特に開豊地区の投票率が低い。浦原開豊地区の投票所を設けてはどうか。また、現在の投票所の見直しはないのか。

●投票率アップのための啓発は行っている。新しい投票所の設置は制約もあり難しい。選挙人名簿の見直しは住民基本台帳を基礎にしているなどの問題があり、種々の影響を考慮して慎重に検討する。現在の選挙区が最良のものとは考えられておらず、なお検討して有権者サービスの向上に努めたい。

○乳児保育の実施についてはどうなっているのか。また、障害児保育の年齢引き下げの問題は。

●乳児保育については、西部保育所で一歳児から実施している。市内全域から三十人程度を厳選して、

可決された議案

●昭和六十一年度南国市下水道事業特別会計歳入歳出決算―総額三億八千二百二十二万円

●昭和六十二年南国市一般会計補正予算―補正総額二億六千八百一十一万円、地域改善対策市単独費一千五百五十四万円、広域農道関連事業費負担金二千四百三十八万円、道路整備事業費負担金一千九百五十五万円、都市計画街路事業費負担金六千六百六十八万円、都市計画公園区画整備事業費負担金二千七百七十三万円、下水道特別会計への繰り出し金四千三百七十一万円など。開発公社

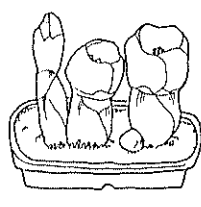
●の支払い金八千五百六十四万円

●昭和六十二年南国市国民健康保険特別会計補正予算―補正総額五百七十三万円

●昭和六十二年南国市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算―九千七百七十四万円を減額補正

●昭和六十二年南国市下水道事業特別会計補正予算―補正総額一億七千七百七十三万円

●南国市税条例の一部を改正する条例―国会で可決成立した税制改革に伴う個人住民税率構造の見直し、基礎控除額等の引き上げ、



○香南綿綿組合の改築問題について。後免野田、里保育所で人件費がかかる方法を考えてながら一歳児から保育を行うことについて六十三年度実施に向けて総合的に検討中である。障害児保育については、二歳児から実施するよう六十三年度に向けて検討している。

○農業委員会の不祥事について農業委員会の決意は。

●農業委員会として謙虚に受け止めて、農業者の代表として農地を守り、後継者を育てることに努力していく。潮見台ニュータウンについては問題になるようなことはない。

配偶者特別控除の創設、たばこ消費税の税率等の特例措置の適用期限の延長など。

■南国市立児童遊園地の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例■事実上市立児童遊園地として管理運営を行ってきた立田児童遊園地外二件を市立児童遊園地として条例へ追加。

■土地売買に関する契約の締結について■市パークタウン内に設置する南国市公共下水道事業の終末処理用地として必要な土地の売買契約の締結。

■北陵中学校増築工事請負契約の変更について■六十五万円を増額し、一億二千六十五万円とする。

■南国市公共下水道事業管渠布設（篠原汚水幹線）工事請負契約の変更について■二千六百三十二万円を増額し、合計請負金額一億九千三十二万円とする。

■町の区域及び名称の変更並びに字の廃止について■十月十六日から十一月十四日まで行った東崎西部地域の一部の住居表示を三月一日より実施。

人事異動

岩崎総務課長の収入役就任に伴い、市は十二月二十二日付けで次のとおり人事異動を発表しました。

■損害賠償の額を定めることについて■市有公用車の事故により九万五千円を賠償。

■損害賠償の額を定めることについて■公務中の市有公用車の事故により九十三万円を賠償。

■南国市助役選任の同意について■南国市収入役選任の同意について

■南国市一般職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例■人事院勧告に基づく国家公務員の給与改正に基づく市職員の給与改正

■東崎西部小集落地区改良事業中層耐火構造改良住宅建設工事（1工区）請負契約の締結について■二億二千三百五十万円に契約。六

十三年八月三十一日完成予定。

■東崎西部小集落地区改良事業中層耐火構造改良住宅建設工事（2工区）請負契約の締結について■二億七千万円に契約。六十三

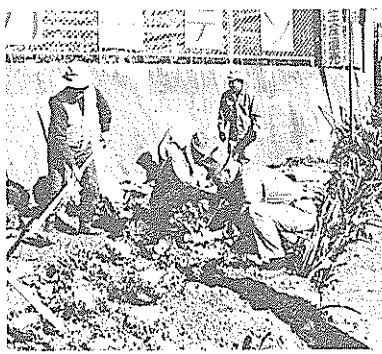
年八月三十一日完成予定。

なお、十二月議会の議事録は、三月以降市立図書館で閲覧できますのでご利用ください。

県道沿いを

花いっぱい

久礼田地区老人クラブ



葉牡丹が1つ1つ丹念に植えられた

花いっぱい環境を——と久礼田地区老人クラブ（門田草苗会長）の皆さん十二人が、十二月十九日植田の県道前浜一植野線沿いに葉牡丹を植えました。

これは、老人クラブの皆さんが毎年県道沿いの県有地を借りて行っている花いっぱい運動の一環として実施。この日植えられた葉牡丹は、クラブ員の野口賢さんと門田基さんが寄付したものです。参加した皆さんは、土を掘り起こしたり、並べ方を考えたりして、楽しそうに汗を流していました。クラブ員は、これからも世話をしていくことにしており、しばらくの間県道を通る人々の目を楽しませてくれそうです。

子供たちが 楽しくもちつき

○長岡小学校○

十二月二十三日、長岡小学校の五、六年生約百五十人がもちつきをしました。

これは、米消費拡大推進事業の一環として、子供たちが七月下旬に植え、十一月下旬に収穫したもち米のうち約一俵を使って行われたものです。

関係者や父兄の指導を受けて、臼や杵を使って大騒ぎしながらつきたてのものは全校児童に配られたほか、土佐希望の家にも贈



掛け声をかけながらもちをつく子供たち